

イノシシのパラドックス

中央ヨーロッパの野生イノシシ
チェルノブイリ原発事故（1986）以後
放射能レベルが高い状態が継続

「イノシシのパラドックス」

シカなどの放射性物質は減少

セシウム137と135の比率は原爆と原発事故で異なる

イノシシのセシウムは**核実験由来が最大68%**

Environmental science & technology 2023.8.30

核実験の被害者救済

1945. 7. 16 ニューメキシコ州アラモゴード
78年後

2023. 7 放射線被ばく補償法 拡大
乳幼児死亡、重複がん、甲状腺がん、など
3代にわたる被害

核兵器禁止条約（核実験被害者の救済などを含む）

核実験の数

米国 1127回

ソ連 726回

フランス 200回

英国 45回

中国 45回

その他 14回

(パキスタン、インド、北朝鮮 他)

計2157回

核実験の回数

Nuclear Explosion DataBase (NEDB)、
包括的核実験禁止条約機関準備委
員会 (CTBTO)

翻訳：新倉由久 編集：下郡美紀
| REUTERS GRAPHICS

